

# じちろうは 『あなたの味方』です。



青年部夏期交流集會に全道から329人が参加／せたな町



全日本自治団体  
労働組合北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7 北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 佐々木直人

特 集  
新規採用者

◆ <http://www.jichiro-hokkaido.gr.jp/>  
自治労北海道本部は「ホームページと  
facebook」での情報発信を行っています

〔自治労北海道〕  
ホームページQRコード



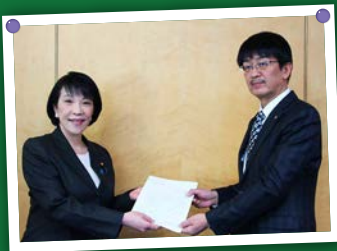
## ◆自治労とは?◆

自治労は全国の地方自治体・公共サービスに関連する職場で働く仲間が集まる労働組合です。全国の都道府県庁、市役所、町村役場、公立病院、保育所、公社・事業団、委託先民間企業など、地域の公共サービスを支える職場で結成されています。2708組合・約81万人(北海道は234組合・約51,000人)の仲間が自治労に加盟しています。

自治労は、「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」を合言葉に、みなさんが仕事をする上での悩みや不満を聞いて、仲間とともに改善していく組織です。自治労は『あなたの味方』です。安心して働ける職場・生活環境の改善、働きがいや生きがいを見出していくため、私たちと一緒に活動していきましょう。

## 組合員の生活と権利を守ります

一人ひとりの組合員がゆとりを持って暮らせるよう、賃上げ、労働時間の短縮、必要な人員の配置、雇用の安定、安全で快適な職場環境の確保などに取り組んでいます。



私たちの声を反映させるため、高市総務大臣に要求書を提出するなど国や自治体に申し入れや交渉を行います。また、私たちの代表を国会や地方議会へ送り出しています。

## やりがいを持って働くために

自治労では学習や情報交換の場として、各種集会・セミナー・学習会を開催しています。自分たちの労働条件だけでなく、住民に喜ばれ、役に立っていると実感できる仕事ができるよう、地方自治研究活動にも取り組んでいます。

地方自治研究活動をおとして、行政に制度・政策の提言を行っています。ごみの分別収集についても、組合からの提言で実施されたものです。



## すべての人に豊かで平和な暮らしを

平和、人権、環境問題など、現代社会はたくさんの問題を抱えています。良い社会をつかっていくために地域住民と協働して、署名・ボランティア活動・国際貢献活動などに取り組んでいます。



大きな被害をもたらした東日本大震災に対し、自治労は「地域住民の命と生活を守る」という公共サービス労働者として、全国から延べ2万人が復興支援に入りました。また全国から5億円を超えるカンパが集まりました。

この間の人員削減により長時間労働が恒常化し厳しい職場実態がつかられています。しかし、私たち自身が安心して働き続けられなければ住民サービスは下がってしまいます。より良い職場環境をめざし、「理想と現実のギャップを埋めること」が重要です。そのためにも、自治労に結集し、公共サービスを担う全国の仲間と「学習・交流・実践」を行い、職場改善にむけた一歩を踏み出していきたいと思います！



斉藤青年部長

# 「組合」って カ です



労働組合とは、働くものが集まって、組合員の権利を守ったり、働きやすい環境をつくる組織です。長時間労働、賃金、休暇、セクハラ・パワハラ...日々の仕事や生活の中で問題に直面したとき、組合が力になります。

月  
日  
曜  
日  
直  
日

## 仲間と出会えるネットワーク

たくさんの方がいるから、たくさんの個性があります。全国のネットワークを生かした、様々な専門分野・公共サービスの現場で働く仲間との交流ができるのは自治労ならではのです。また、スポーツ大会や文化活動などレクリエーションも盛んです。

組合員の交流の場のひとつとしてスポーツ大会を開催。昨年の軟式野球大会では石狩市職労と苫小牧消防協が全国大会へ、バレーボール大会では札幌市職連が全国制覇を果たしています。



## じちろう共済で「助け合い」

自治労組合員には、自ら立ち上げた共済事業「じちろう共済」があり、「助け合いの精神」で運営されています。営利を目的としないため、手頃な掛金で充実した保障を受けることができます。



自治労共済に加入することにより、日々の生活に必要な保険料(掛金)を抑制し、可処分所得(自由につかえるお金)を確保できます。詳しくはパンフレットをご覧ください。